

# 平成28年度第9回登別市教育委員会会議録

日 時 平成28年12月22日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 小会議室

## 第9回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成28年12月22日（木）午後4時30分
- 2 場 所 登別市民会館 小会議室
- 3 議 案 報告第10号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について  
報告第11号 平成28年第4回登別市議会定例会一般質問について  
報告第12号 教職員人事の内申に係る臨時代理について  
議案第15号 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について  
議案第16号 登別市立学校学校医等表彰について
- 4 情報提供 1. 平成29年登別市教育行政執行方針について  
2. 登別市指定文化財の指定について  
3. 平成29年登別市成人祭について  
4. 平成28年度家族の時間づくりプロジェクトプレ実施の施設利用状況について

### 出席者

(教育委員会5名)

教育長	武 田	博
委 員	垣 内	登紀子
委 員	森 口	達
委 員	赤 井	秀 輝
委 員	堅 田	裕

(事務局9名)

教育部長	佐 藤 史 彦
教育部参与	野 崎 均
教育部次長	橋 場 太
総務グループ建築主幹	出 口 利 美
学校教育グループ総括主幹	田 中 道 郎
学校教育グループ学務主幹	櫻 井 貴 志
学校給食センター長	小 森 仁
社会教育グループ総括主幹	安 部 直 也
図書館長	綿 貫 亨

○武田教育長　それでは、本日の委員会は、5名全員が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより、平成28年度第9回教育委員会を開催します。本日の議事は、報告4件、議案2件になります。

それでは、早速議事に入ります。報告第10号「市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いします。

○橋場教育部次長　議案書の1ページをご覧ください。報告第10号「市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理」になります。内容は、平成28年度登別市一般会計補正予算（第6号）になります。資料1の補正予算書及び予算説明書の7・8ページの鷺別小学校建替事業費と9・10ページの登別中学校の耐震化・改修事業費と便所洋式化事業費ですが、これらの事業は平成29年度の予算で実施することとしておりましたが、平成28年度の国の第2次補正予算の内定を受けましたので、活用することとしました。この補正予算を活用することで市債の充当率が嵩上げになります。鷺別小学校と登別中学校を合わせて、総事業費5億7,851万5千円を予定していますが、そのうち市債については3億7,810万円が、4億8,770万円となり1億960万円の嵩上げを受けることができるようになります。歳入については5・6ページの下の方に記載されています。鷺別中学校が3億6,230万円、登別中学校が1億1,650万円と890万円になります。1・2ページをご覧ください。事業は29年度に繰越して行いますので、繰越明許の手続きも行っています。3・4ページでは地方債借入の限度額の変更を行っております。それと、ネイチャーセンターですが、前のページに戻っていただきまして、指定管理の期間が今年度で終了となりますので、次年度以降改めて5年間の指定管理をモモンガくらぶにお願いすることになりました。そのため5年間の予算を確保するにあたりまして1億8,639万8千円の債務負担行為を組んでおります。

これらの予算について、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づき、議案書2ページのとおり臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めるものであります。以上です。

○武田教育長　報告第10号補正予算について説明がございました。質疑・ご意見があれば受けたいと思います。

○武田教育長　29年度で予定していたものが国の補正によって前倒しで取組むことになったという内容であります。何かありませんか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長　それでは、報告第10号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長　それでは、報告第10号については承認することとします。

次に、報告第11号「平成28年第4回登別市議会定例会一般質問について」事務局から説明をお願いします。

○橋場次長　はい、第4回定例会は、11名の議員から質問がありまして、その内、教育関係については3名から質問がありましたので概要を報告させていただきます。議案書4ページになります。1人目は、千田議員から図書館の整備方針と運営についての質問がありました。市が定めている「公共施設整備方針」では、図書館の増改築については、隣接する青少年会館の施設を廃止する際に跡地を利用して増改築を検討行うことになってはいますが、まずは利用者が快適に利用できるよう整備に努めていくこと。また、ソフト面については、青少年会館の使用状況や書庫としての活用、空いている時間を活用した読み聞かせの実施などについての質問があり、年間で約2万件の利用となっており、そのうちホールが9割、2階研修室が1割程度の使用状況となっております。書庫としての活用は構造上の問題があり難しいと考えておりますが、読み聞かせなどには可能であると答弁を行っております。また、新聞でも出ていましたが、図書館ビジョンの作成について、広く意見を聞きながら取り組んでいくということで答弁をしています。

2人目は、佐々木議員になります。札幌の小学校でありましたアスベストの事故を受けまして、学校施設のアスベスト対策についての質問がありました。本市の状況は、学校の大規模改修に合わせて集中暖房から個別暖房に切り替えてきておりますが、集中暖房で使用していたボイラーの煙突に石綿含有の断熱材を使用している学校が小・中それぞれ3校ありました。これらのうち、小・中の各2校については個別暖房に変更していることから、既に囲い込み工事を終えていること。また、残りの各1校については、昨年より専門業者による調査を行うこととなりましたので、安全を確認し、経過観察を行っていると答弁をしております。

3人目は、戸井議員から中学校の部活動について、現状と部活動の休日確保などの観点からの質問がありました。部活動については学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう各学校に指導しているところですが、指導にあたっては、道教委から発出されている「教育職員の時間外勤務等の縮減に向けた取組方策」に基づき、休養日や活動時間数、複数顧問の配置について指導を行っておりますが、なかなか休めていないというところがありますので、工夫について働きかけていきますと答弁をしております。以上です。

○武田教育長　第4回定例市議会の一般質問について説明がありました。この件に

ついてご質疑ございませんか。

○森口委員 図書館の方ですが、司書が市民の調べもののお手伝いをするレファレンスサービスと書いてますけども具体的にどのような内容なのでしょうか。

○綿貫図書館長 昨今の図書館では、課題解決の機能が一つありまして、市民の生活課題ですとか地域の課題に対して図書館の資料の提供や情報提供をもってお答えするというのがレファレンスサービスというものであります。具体的には図書館には百科事典をはじめとした統計とか白書がありますので、利用者から要望に応じて調べもののお手伝いをするということでもあります。本市におきましてはアーニス分館に3つのデータベースを入れまして、一つはジャパンレッジといたしまして百科事典や各種辞典が一括でインターネットで検索できるものですが、それを昨年度から導入しました。それと北海道新聞のデータベースですね。北海道新聞の記事が検索できるものです。それと「法令 Web (ウェブ)」といたしまして第一法規の法令関係ですが、三つのデータベースを入れまして充実を図っているところです。

○武田教育長 よろしいでしょうか。

○森口委員 はい。

○武田教育長 その他ございませんか。

○武田教育長 それでは、報告第11号については終了します。

次の報告第12号・13号は、教職員及び教育委員会事務局職員に関する人事案件ですので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項のただし書き」の規定により、公開しないことにしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは、公開しないこととします。

(非公開)

○武田教育長 それでは公開することとします。

次に議案第15号「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載の同意について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○櫻井学校教育グループ学務主幹 平成28年度全国・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載についてであります。議案書の11ページ及び資料2をご覧いただきたいと思っております。本年実施された本調査につきましては12月15日に国及び都道府県の結果が公表されました。市町村別の結果については、年が明けて1月10日以降に公表されることになっております。その結果について道教委の方から北海道版結果報告書への掲載について同意を求められましたの

でお諮りします。本年度の国で定めた実施要領によりますと教育委員会や学校が保護者や地域住民に対しまして説明責任を果たすことが重要であると明記されております。道教委では来年2月を目途に公表を予定している北海道版結果報告書の方にきめ細かく分かりやすい調査結果を示したいとの考えから市町村別の状況を明らかにした報告書を作成するため同意を求められたものであります。登別市教育委員会では、資料2になりますが13ページをご覧いただきたいと思っております。ご覧のとおり掲載方法が学校別の結果ではないこと。それからレーダーチャートによる表示でどのような種目に課題があるのか明確であること。また、他市町村の結果や体力向上の取組を知ることで今後の当市の取組の参考になると考えられることから全国学力学習状況調査のときと同様に道教委の市町村別の掲載に同意したいと考えております。委員の皆さんのご意見を伺います。

○**武田教育長** ただ今議案第15号について説明がありました。ご質疑ございませんでしょうか。道教委の考え方、それから市町村の取組を含めての話でございませうけれどもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第15号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第15号について承認することとします。

次に議案第16号「登別市立学校学校医等表彰について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**田中総括主幹** 議案第16号は学校医及び学校歯科医の表彰について議決を求めるものです。この度例年通り「学校医等表彰規定」に基づきまして選定しましたところ平成8年からの20年表彰、学校歯科医では20年表彰と昭和61年からの30年表彰のそれぞれで該当者がおりましたので提案するものです。学校医の20年表彰につきましては、堀尾昌司氏でございます。現在幌別西小学校の学校医をされております。学校歯科医につきましては、20年表彰が須田倫夫氏、現在緑陽中学校を担当しております。30年表彰につきましては3名おまして、野村慶子氏が現在富岸小学校、飯淵良幸氏が登別中学校、野村和司氏が緑陽中学校の合計5名の表彰対象でございます。以上ご審議よろしく申し上げます。

○**武田教育長** ただ今議案第16号学校医等の表彰規定に基づいて、それぞれ委嘱年数に達した方の表彰について説明がありました。ご質疑ございませんか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第16号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「異議ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第16号については承認することといたします。

以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたらお願いします。

### 【情報提供案件】

○**野崎教育部参与** 平成29年度の教育行政執行方針の作成に向けて現在検討を進めている内容について報告します。本日配布しておりますA3版の資料をご覧ください。できればと思います。執行方針は29年度の登別市の教育行政の基本的な方向と重点施策について教育委員会の考え方を明らかにするものでありまして、作成にあたりましては国の動向ですとか市長部局の方針、各種基本計画のほか、平成23年度から28年度までの執行方針の重点項目を明らかにして検討することが大切であるとの考えのもと資料を作成しております。まず国の動向ですけれども表の一番下になります。文部科学省の文教関係の予算のポイントによりますと誰もが活躍できる1億総活躍社会の実現に向けて教育再生のための取組を推し進めることが必要とありまして、次世代の学校創成のための指導体制強化ですとか、地域と学校の連携・協働に向けた改革の推進を重点ポイントとして取り上げております。また、その他特別支援教育ですとかいじめ不登校対策、道徳教育、教育課程の充実、キャリア教育、職業教育、ICT活用等も挙げられております。次に平成29年度の教育委員会所管の主要施策としましては、表の右側の欄になりますけれども市の総合計画第3期基本計画の第5章豊かな個性と人間性を育むまちとの関連を図りながら、地域とともにある学校づくりを基軸に据えて進めるとともに、平成31年度からの新学校教育基本計画の策定に向けまして委員会等を立ち上げて検討等を開始して参りたいと考えております。以上のことを踏まえまして前文に学校基本計画策定の準備開始の文言を盛り込むとともに、重点項目案の初めには地域とともにある学校づくり、これは27年度から重点項目の一つ目に挙げているものでございますけれども29年度も地域とともにある学校づくりをはじめに位置付けまして、さらに学識経験者のご意見等も踏まえまして、29年度の重点の中の真ん中あたりでございまして28年度は安全対策としていた項目を安全対策と安全教育との2つに分け、安全教育の部分を外出しして重点にしていきたいと考えております。それと安全教育から3つ

下の学校の適正配置というものも項を起こしまして、話し合いの充実を図るなど20件を重点項目として考えております。今後でありますけれども1月の教育委員会で執行方針案を提示させていただきたい。ご意見をいただき第1回市議会定例会で提案したいと考えております。委員の皆様方には作成の概要を参考にご意見をいただきたく報告させていただきます。以上です。

○**武田教育長** 情報提供については全て説明後に質疑をいただきたいと思います。続いて、登別市指定文化財の指定と成人祭について説明をお願いします。

○**安部社会教育グループ総括主幹** 社会教育グループからまず、登別市指定文化財の指定についてでございます。資料1ページをお開きください。本件につきましては、平成28年11月18日付けで登別市文化財審議会へ諮問をし、12月12日に開催しました文化財審議会において異議がないこととして答申がなされることとなりましたので情報提供するものであります。指定物件名は登別化石林の炭化木（トドマツ）でございます。種別は記念物、所在は登別市郷土資料館に現在展示をしております。採取地につきましては資料の4ページになります。地図がございまして登別本町2丁目74の2、これは高速道路の法面のところでございます。なお5ページの方に写真を掲載しております。資料1ページに戻りまして、指定の理由についてでございますが、候補物件であります登別化石林の炭化木（トドマツ）は昭和59年5月5日北海道縦貫自動車道工事の際、札幌・室蘭の教師と北海道教育大学札幌校の春日井昭研究室の学生が中心となり結成した胆振団体研究会が発見したものであります。発見された炭化木は、約4万3,580年前の倶多楽火山の噴火堆積物により形成されたもので約700平方メートルの範囲で確認されております。確認された炭化木は57本で、多数の樹幹が直立したまま埋積され発見された例は多くはなく、樹幹周囲の堆積構造から火砕流の堆積方向が明らかにされております。また、樹種は現在の気候と異なりトドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ、及びグイマツの4種が同定され、主に針葉樹からなる樹高20メートル以上の森林の様相であることが分かっております。また、ウルム氷期中期の寒冷な気候の変遷の実態を明らかにし、北海道及び登別市の自然史と倶多楽火山の活動史を解明するうえでも貴重な資料であることから、この度指定の候補としたところでございます。備考といたしまして、確認された炭化木のうち2本、トドマツとグイマツになりますが、昭和59年5月19日に採取され北海道開拓記念館、現在の北海道博物館におきまして保存処理が施されまして、現在はトドマツが登別市郷土資料館、グイマツは北海道博物館に展示されております。なお、炭化木と化石林の使い分けでございますが、炭化した樹木を炭化木、その集合体である樹木帯を化石林としておりますので、今



回の指定物件名は登別化石林の炭化木としており、更にグイマツとトドマツがありますのでカッコ書きでトドマツと記載をしております。2 ページ以降につきましてはこれまでの経緯を記載しておりますのでご一読いただければと思います。なお、本件につきましては1月の定例教育委員会におきまして議案として予定をしているものであります。登別市指定文化財につきましては以上でございます。

続きまして平成29年登別市成人祭についてでございます。資料は6 ページをお開きください。既に文書でご案内しておりますが、平成29年1月8日(日)13時から市民会館におきまして登別市成人祭を開催いたします。今回のテーマにつきましては、～K S K 輝く未来へ進もう君たちの力で～ということで式典とアトラクションの2部構成で実施いたします。対象者数は、男性が263名、女性が244名で計507名となっております、前年度対象者からは90名弱の減となっております。以上でございます。

○**田中総括主幹** 家族の時間づくりのプレ実施の関係で情報提供です。当日配布しました協賛団体施設利用状況調べという1枚ものの資料になります。はじめに幼稚園と明日中等教育学校を含めた全体数についてであります。一つ目に利用人数ですが子ども396人、保護者550人、合計946人の利用状況となっております、1世帯あたりは2.8人の利用となっております。二つ目として参考になりますが、施設別の状況については第一滝本館が50.2%、ほぼ半数の利用となっております。これにつきましては子どもに人気のウォータースライダーのプールが唯一あるということで、あとは特別料金の割安感が一番あったということで集中したと思っています。次に、小中学校に限定した状況では、小中合わせて人数は355人で全体人数の利用割合は10.4%と約1割の利用となっております。小中別の割合については、小学校13.4%、中学校4.6%となっております。保護者を含む利用人数は831人で1世あたりは全体数と同じ2.8人となっております。あと傾向として地域別、校區別にどうであったのかということで調べました。多い順に緑陽地区が30.4%、鷺別地区が23.4%、幌別地区19.4%、西陵地区17.7%、登別地区9.0%、利用人数の単純割合になりますが、意外に温泉地区から遠い地区の利用が多かったと、幌別までは多分普段利用しているのかなということで普段利用していない地域が特別料金の割安感で利用のきっかけにつながったのではというような推測をしています。本実施については1月になりますが、それは統計ができ次第情報提供したいと思います。以上です。

○**武田教育長** 情報提供について4件説明をいただきました。一括で質疑に入りたいと思います。何かありましたらご意見、ご質疑いただければと思います。

- 堅田委員** 家族の時間づくりプロジェクトで登別地区は温泉が近いのでなかなか周りの方と話をしても近すぎるという印象はあります。
- 武田教育長** 日常それだけ近いということですね。
- 堅田委員** そうです。
- 武田教育長** 他にございませんか。
- 垣内委員** なかなか他の地域では、このような体験は難しいと思うのですが、世界で有名な登別温泉で小さいころから慣れ親しむというのは、本当に子ども達にとって幸せなことだというふうに思いました。
- 武田教育長** 温泉については、小学生の入湯体験というようなこともやっているのですが、家族で一緒に再発見のような体験をするというのは貴重な経験である、特に最近ではふるさと学びたいな郷土を知っていくというようなところが大事であると思っております、これからもできることなら続けていければと思っております。その他執行方針、指定文化財、改めて答申をもらったり、正式な文案ができれば、又委員会にかけていただくということですので、その時点でご意見などをいただくということだと思います。その他よろしいでしょうか。
- 綿貫館長** 委員の方のお手元に読感想文という資料をお配りいたしました。お時間があればご覧いただければと思います。
- 武田教育長** 読書感想文の入選作品です。
- 安部総括主幹** 社会教育でも第5次の中期計画ということで10月に作成したものの製本が終わりましたのでお配りしました。ご一読いただければと思います。
- 田中総括主幹** USBの関係になります。最終的には道教委の懲戒相当になりますので、内申ということで議案として提案する予定でございます。その後、校長会とも協議しながら防止策について即対応しまして、参与が中心となって対応していることを報告させていただきます。具体的には1月に内申の提案があると思いますので、現時点の状況を報告させていただきます。
- 武田教育長** 先般、管内の教育長会議がありまして、道教委全体の流れになりますが、職員の服務規律ということで改めて、体罰が全国的にも話題になっていること。或いは、飲酒運転など時期的なこともあって、そういうことを含めて、或いは個人情報流出の問題だとか出てまいりましたので、学校にもそれぞれ事務局から通知しておりますが、一層服務規律の管理にしっかり対応していただきたいということを各校長には報告しております。他にございませんでしょうか。
- (「ありません」の声あり)
- 武田教育長** なければ、会議を終了します。

最後に1月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

**○橋場次長** 1月の教育委員会につきましては、1月26日木曜日、会議は16時30分からホテル平安で開催したいと思います。

**○武田教育長** それでは、事務局より提案のありました1月26日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。  
(「はい」との声あり)

**○武田教育長** では、決定とさせていただきます。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせするという事によろしいでしょうか。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。